

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

|             |    | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など  |
|-------------|----|---|----|---------------|-----|---|
| 環境・<br>体制整備 | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか                                  |    | ○             |     | ①基準面積は満たしているが、総合的観点から狭さは否めず、スペースがほしい状態、②現状で個別に集中できる支援内容を追求する          |
|             | 2  | 職員の配置数は適切であるか   | ○  |               |     | 児童指導員等配置加算の該当であり、常勤換算で3.0人である   |
|             | 3  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか                           |    |               | ○   | ①玄関に段差があり、スペース的にスロープ等の設置が困難な状況、②トイレにも段差3cmある、支援でカバーしていく               |
| 業務改善        | 4  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか                | ○  |               |     | 改善に努めているものの、職員全員による参画がなされていない   |
|             | 5  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか     | ○  |               |     | ①年1回のアンケート実施と懇談会開催を計画していたが、コロナ禍により開催できていない、②保護者との意思疎通はできており業務改善に努めている |
|             | 6  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                           | ○  |               |     | 法人のホームページに公開する予定(令和3年4月開設のため、初回となる)                                   |
|             | 7  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか                             |    |               | ○   | 定期的な自己評価を行い、課題抽出と改善を継続してサービスの向上に努めたい                                  |
|             | 8  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか                                | ○  |               |     | 計画的研修を行い、資質向上を行っている   |
| 適切な支援の提供    | 9  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○  |               |     | 公認心理師によるアセスメントをもとに、全職員で支援計画管理を行っている                                   |
|             | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか                   | ○  |               |     | 独自のアセスメントシートを運用している   |
|             | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか                                       | ○  |               |     | 関係職員による立案と全職員からの意見聴取を展開している   |
|             | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか                                     | ○  |               |     | ①常に職員で前月の振り返りを行って検証している、②マンネリ化も否めず工夫が必要                               |
|             | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか                         | ○  |               |     | 個別活動計画を設定している   |
|             | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか            | ○  |               |     | 物理的制約があるものの、可能な限りバランスを考えた支援を行っている                                     |
|             | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか             | ○  |               |     | 当日の打合せ、前日の反省等、全職員が共通意識をもって取り組めるよう環境設定している                             |
|             | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか        | ○  |               |     | ①当日は、遊具等の消毒作業で実施できないため、翌日の打合せ時に行っている、②共有すべき事案は共有している                  |
|             | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか                    | ○  |               |     | ①児童指導員を中心に、記録においても役割を分担して対応している、②記録の取り方に課題あり                          |

|              |    |  |   |   |   |   |
|--------------|----|--|---|---|---|---|
|              | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか                             | ○ |   |   | ①3～6か月に1回のモニタリングを全職員で行っている、②利用者全員には至っていない                               |
|              | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか                                    |   | ○ |   | 自立支援や各種活動並びに適応行動の支援等、社会へ出ることを念頭においた支援を展開している                            |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                     | ○ |   |   | 児童発達支援管理責任者と常勤の児童指導員の2人を基本として参画している                                     |
|              | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | ○ |   |   | ①連絡帳を共通にする、学校と放デイの連絡帳をお互いに確認し合える等の処遇により、共通理解に努めている、②学校からの一方的な連絡が主となっている |
|              | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか                             |   |   |   | 受け入れなし  |
|              | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか                | ○ |   |   | 必要に応じて訪問等を行って情報収集や継続性に留意している  |
|              | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか     |   |   |   | 実績なし  |
|              | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                          | ○ |   |   | ①常に共通理解できるよう環境に配慮して支援を行っている、②専門的アドバイス助言はあるが連携する研修がない                    |
|              | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                                  |   |   | ○ | コロナ禍でもあり交流がないため、今後の課題と理解している  |
|              | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか   | ○ |   |   | 職員の一人が地域自立支援協議会のメンバーとなっている  |
|              | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                        | ○ |   |   | 日々の変化等は連絡ノートで、一定期間の変化はモニタリング等で実施している                                    |
|              | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか                       |   |   | ○ | 実施していない   |
| 保護者への説明責任等   | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか                                      |   |   | ○ | ①利用開始時には行すが、時間の経過と共に忘れていられると思われる、②運営規程・重要事項の掲示がない                       |
|              | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                              | ○ |   |   | 相談は常に受付ており、必要に応じて専門分野の人からの助言を得ている                                       |
|              | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                          |   |   | ○ | 開設1年目であり、実施していない  |

|         |    |   |   |   |   |   |
|---------|----|---|---|---|---|---|
|         | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか             |   | ○ |   | ①体制は整備されているが、②周知不足は否めない                       |
|         | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                               | ○ |   |   | 月1回の会報により実施している                               |
|         | 35 | 個人情報に十分注意しているか  | ○ |   |   | ①個人情報保護規程に則り実施している、②写真掲載は同意書を得ている             |
|         | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか  | ○ |   |   | ①コミュニケーションの研修等を実施している。<br>②利用者個々に合った手法を工夫している |
|         | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   |   |   | ○ | 開所時に見学会を計画していたが、地域内での感染拡大があり中止した              |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか                                |   | ○ |   | ①定期的にマニュアルの確認を行い周知を図っている、②保護者に対する周知が不足している    |
|         | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | ○ |   |   | 毎月1回の消防訓練を行っている                               |
|         | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | ○ |   |   | 全職員による委員会と研修会開催で防止に努めている                      |
|         | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ |   |   | 個別支援計画に記載している                                 |
|         | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか   |   | ○ |   | 保護者への聞き取りはしているが、文書として残していない                   |
|         | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | ○ |   |   | 発生時に全職員で検証している                                |

【改善すべき課題】

- ① 指導訓練室のスペースについて、今のスペースで効率よく支援ができる個別支援計画の内容を検討したい
- ② バリアフリー化は物理的に難しい状況のため、職員のサポートで対応したい
- ③ 第三者評価を未受審のため、定期的な自己評価により課題抽出と改善活動を継続していきたい
- ④ 利用者情報の共有化は、翌日であるが実施しているため、文書による伝達を含めて対応を継続したい
- ⑤ 他団体との交流については、感染対策の徹底を基本にして模索していきたい
- ⑥ 保護者との懇談会を年1回は開催し、保護者同士の連携を支援していきたい
- ⑦ 地域住民との連携についても、感染対策の徹底を基本にして連携のあり方を模索していきたい